



こんにちは
日本共産党
区議会議員

中里光夫です

中里光夫区政報告
2024年12月22日 No.315
世田谷区代田4-33-1
TEL 5432-2791 / FAX 3412-7480
Email: nakazato@jcp-setagaya.jp

下北沢雨庭広場前に横断歩道設置実現

下北沢線路街が人気スポットに

下北沢駅周辺の小田急線跡地は「下北沢線路街」としてすっかり人気スポットになりました。区民が管理する緑の「はらっぱ」、若者の挑戦を支援する家賃を抑えた小さな商店、認可保育園、温泉旅館まであり、ドラマのロケ地としても評判になりました。週末には多くの人でにぎわいます。

歩行者の安全確保を

鉄道の線路だったところは緑道となり、多くの人が行き交っています。しかし、もと踏切だったところは踏切が撤去され、自動車の一時停止もなく通り過ぎるところを歩行者が横断するようになりました。地域の住民のみなさんから、安全確保のために、踏切だったところに横断歩道の設置を求める声が上がりました。住民のみなさんと共に、区や警察への申し入れ、都議会や区議会での質問を行いました。

横断歩道実現へ

区議会の質問に、区は「地形的条件等により設置困難と結論付けられ、一度は設置が見送られた」「横断する歩行者も大幅に増えたことから再検討を行い、下北沢駅寄り



下北沢駅側から線路跡にできた雨庭広場を望む
(この先が世田谷代田駅)

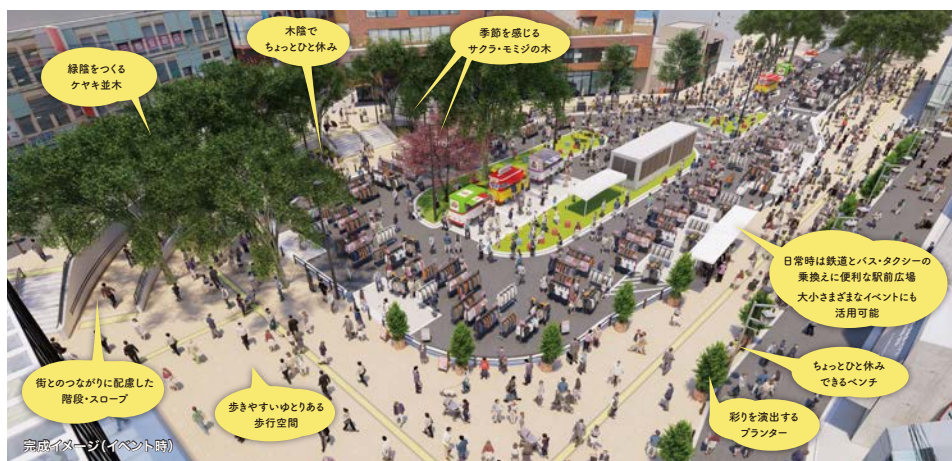
側の1箇所は、今年3月に横断歩道が設置された」、鎌倉通り側も「区でも代替案を提案し交通管理者と協議を継続、交通管理者から横断歩道設置に向けた調整に入ると伺った」と答弁。横断歩道実現に動き出していることが明らかにされました。

下北沢駅前広場の整備が進んでいます

住民が主体的に関われる仕組みづくりを

巨大公共空間が出現

下北沢駅前広場の整備が進んでいます。鉄道が地下にもぐった後にできた巨大な公共空間をどのように活用するか。下北沢は住民参加で街づくりが進められてきました。今後も住民が主体的に関わる仕組みづくりが期待されています。



下北沢駅前広場の整備イメージ
(世田谷区ホームページより)

エリアマネジメントって？

地元商店街が中心となって「エリアマネジメント」の準備が進められています。エリアマネジメントとは、公共空間を含む一定のエリアを対象に、地域の価値向上などを目的に地域の住民や事業者が主体的に取り組む街づくり活動です。一般には大企業が中心となって進められますが、下北沢では商店街を中心とした地域の人たちが主体となって取り組んでいます。

みんなが関われる仕組みを

下北沢は、幅広い様々な人たちの活動で街づくりが進められてきました。商店街を中心としたエリアマネジメントの取り組みが、多くの住民から見えにくくなっている、話し合いに参加させてもらえないなどの指摘もあります。できるだけ多くの地域の関係者の参加しやすい場を設けながら進めてもらいたいと区議会で取り上げました。区は「地域の様々な団体と情報共有する場としてのプラットホームを設け、地域の方々の声を伺いながら取り組んでいくと伺っています」と答弁しました。

